Feb.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

適　用　規　格				
定　格 △2	使用温度範囲	−40℃～ +85℃（注1）	保存温度範囲	−10℃～ +60℃　（注3）
	使用湿度範囲	40%～ 80%（注2）	保存湿度範囲	40%～ 70%　　（注3）
	電　圧	AC/DC 250V	適合コネクタ	DF11−※DS−2C
	電　流	3A	適合電線	AWG 22

性　　能

	項　　目	試　験　方　法	規　　格	QT	AT
構造	外観,構造,仕上げ	目視，寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電気的性能	接触抵抗	100 mA(DC又は 1000 Hz)で測定する。	30mΩ以下	○	−
機械的性能	繰り返し動作	50回の抜き差しを行う。	①接触抵抗:30mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	−
	単体挿抜力	□0.5±0.002mm の鋼製ﾋﾟﾝにて測定する。	差込力 4.4N 以下 差込力 0.3N 以上	○	−
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3方向 各2時間試験する。	①1μs以上の電気的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	−
	耐衝撃性	加速度 490 m/s^2、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。	①1μs以上の電気的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	−
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。	①接触抵抗：30mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	−
	温度サイクル	温度 −55 → +5～+35 → +85 → +5～+35℃ 時間　30 → 10～ 15 → 30 → 10～ 15分 を 5 ｻｲｸﾙ 試験する。	①接触抵抗：30mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	−

備考
(注1)通電時の温度上昇を含みます。
(注2)結露のないこと。
(注3)基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。
　　基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。△2

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△2	2	DIS-H-00004269	TS.MIYAKI	HS.OKAWA	20180928

試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512（対応規格 JIS C 5402）を適用している。

承　認	TS.SAKATA	20091117
検　図	TS.FUKUSHIMA	20091117
担　当	TH.YOSHIZAWA	20091116
製　図	TH.YOSHIZAWA	20091116

注　QT:確認試験　AT:製品検査　○:適用項目

HRS	製品規格表	図番	SLC-084628-04-02
		製品名	DF11-22SCFA(04)
	ヒロセ電機株式会社	製品ｺｰﾄﾞ	CL543-0603-5-04　△2　1/1

技書規２３１－１